

# 情共活性化計画

## 提案の背景

私たちは自分たちの町について本当に知っているだろうか。毎年、行事は何が行われているのか。そもそも地域周辺の道をすべて知っているだろうか。

私は、はっきり言って、自分の町で行われている行事のすべてを知らない。なので、参加できない。行事に参加をしないことは、まちの人々とのコミュニケーションの場を失うことになり、自分とまちとの関係が希薄化になる。そうなると、まちに活気が生まれない。

この状況を変えるために、携帯電話とパソコンで情報を得ることができる、この時代だからその情報の共有の方法を利用して、地域の活性化を目指す、情共活性化計画の提案をしたい。



## 提案内容

### (仕組み)

これからは電話番号だけではなく、一家族に1つのPCメールアドレスを保有してもらう。自治体がこれを管理し、運営していく。

自治体から送信されるPCメールを個人の携帯電話に転送されるようにして情報を確認できるようにする。

宣伝したい人や会社は、自治体に宣伝内容を伝えれば、その地域住民に情報が提供される。  
(宣伝したい側は広告料として自治体にお金を払う。)

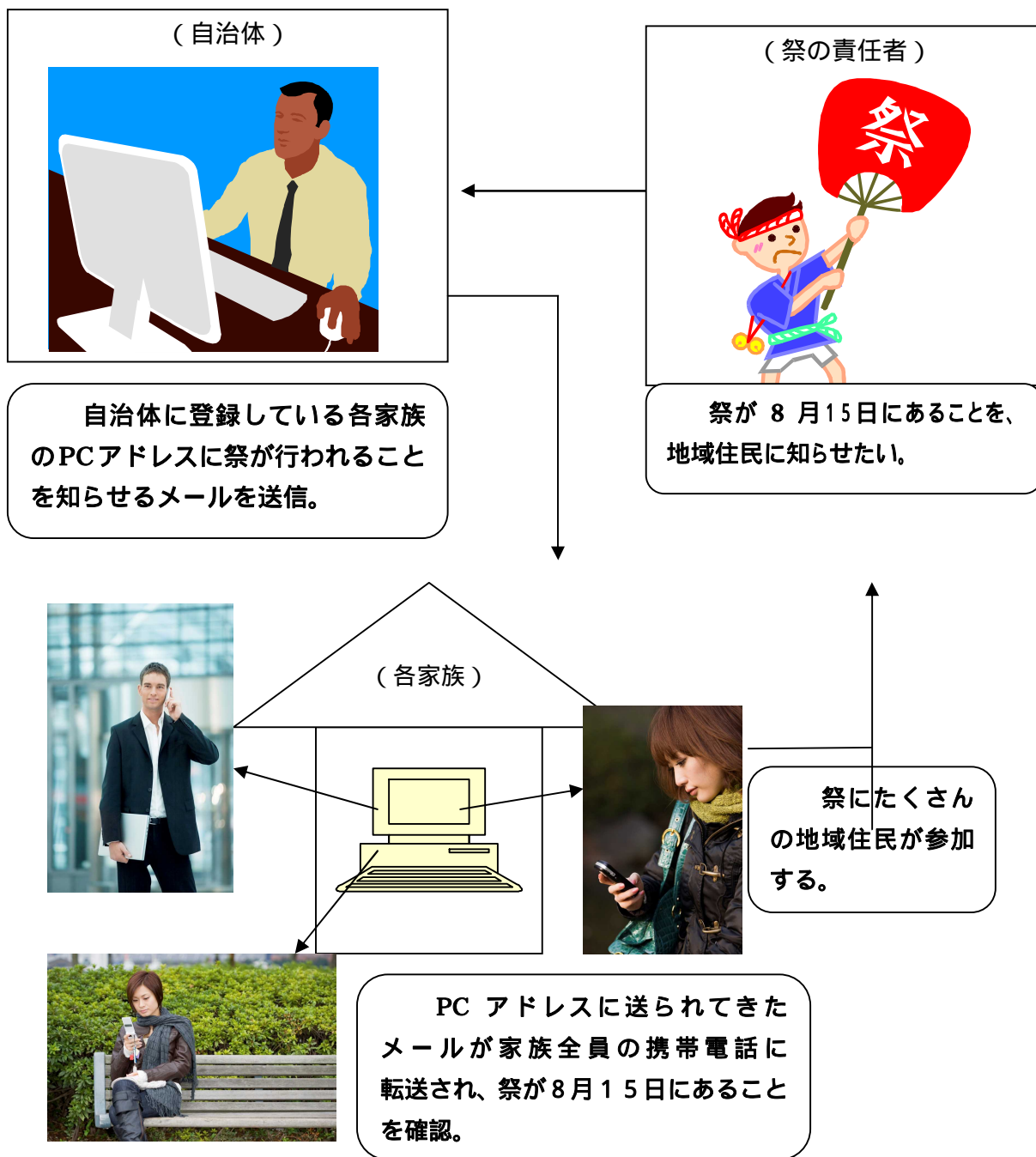
### (情報内容)

地域の行事の情報(祭や運動会、草取りの日時など)を提供する。

地域のお得な情報や、地域限定で使えるクーポン情報などを提供する。

自然災害や事件などの緊急事態のときに「どういう行動をとればよいか」などの情報を提供する。

## 具体的イメージ



まちの活性化！！

## 効果

情報提供を受けた地域住民は、お得な情報や、クーポン情報、日程の情報が手軽に手に入る。

宣伝した人は、チラシやポスターなどより携帯電話のほうが、確実に見てもらえるので、集客力アップ。

自治体はまちが活性化してくれる。広告料を得ることができる。

## 終わり

この提案は各家族がすべて PC と携帯電話を持っていることが前提だ。自治体に登録する PC メールアドレスとは別に PC メールアドレスを保有する必要もある。

なぜなら、自治体に登録している PC メールアドレスしかなかったら、友達からのメールでも、そのアドレスに送られてくる個人的な内容のメールも、家族全員に転送されるからである。広告費をいくらにするかなどの問題点もある。